



流動ダイナミクス知の融合教育研究世界拠点
東北大学グローバルCOEプログラム

東北大学-リヨンサマースクール開校 (2009年9月1～11日 於:フランス・リヨン)

東北大学グローバル COE プログラム「流動ダイナミクス知の融合教育研究世界拠点」は、東北大学の他のグローバル COE プログラムや東北大学の教員が主管する「教育研究拠点・プログラム」と協同して、本年9月1日～11日の間、フランスの2大学 Ecole Centrale de Lyon (以下 ECL) および Institut des Sciences Appliquees de Lyon (以下 INSA-Lyon) と共同で、「東北大学-リヨンサマースクール: Tohoku Lyon Summer School」をフランス・リヨンにて開校しました。このサマースクールの開催を主催した東北大学のプログラムは以下の通りです。

グローバル COE 「流動ダイナミクス知の融合教育研究世界拠点」
グローバル COE 「材料インテグレーション国際教育研究拠点」
グローバル COE 「脳神経科学を社会へ還流する教育研究拠点」
日本学術振興会「Core-to-Core Program」
東北大学「機械工学フロンティア創成プログラム」



ECL(Ecole Central de Lyon)での集合

このサマースクールには、上記5つの拠点・プログラムから、20名の東北大学大学院生（博士課程前期8名、後期12名）と総勢10名の教員・職員が参加しました。また、フランス現地側（ECLおよびINSA-Lyon）からも同様に、総勢20名以上の教員・職員と50名以上の学生・教員が参加しました。

期間中の使用言語は完全に英語であり、期間中、INSA-Lyon, ECL および東北大学の教授からの学術講義、フランス語・フランス文化・フランスの高等教育制度の紹介、国際共同施設 CERN(欧州原子核研究機構)や WIPO(世界知的所有権機関)の訪問・見学、現地日本企業である「東レ Plastics Europe 社」の訪問等の他に、学生たちは、自分及び所属研究室の研究内容を紹介し、質疑応答を参加者全員と共に行うなど、極めて濃密でハードなスケジュールを活発にこなしました。また、リヨン側の好意により、休日のシャモニー地方へのバス旅行や、伝統あるリヨン市庁舎でのレセプション等も経験し、9月13日全員無事に帰国しました。この2週間の経験が、今後の学生たちの成長にどのように活かされるか、非常に楽しみです。



教室の授業風景



学生によるプレゼンテーションと集団討議



フランス語の授業は好評でした！



CERN(欧州原子核研究機構)の見学：
LHC の粒子検出器の前で